

令和 5 年 度

環境・生態系維持・保全活動等調査事業

海浜等清掃活動実施状況調査

報 告 書

(海の羽根基金事業)

令和 6 年 3 月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

まえがき

この報告書は、令和4年における海浜等清掃活動実施状況（1～12月）のとりまとめを47都道府県にお願いし、37都道府県から回答を頂き、その結果を集計したものです。

令和5年は令和4年と比較して清掃活動の回数は1.7万回、参加者は61万人と変わりました。コロナ前の令和元年と比較すると清掃回数は1.5万回→1.7万回と多くなっています。一方で参加人数は令和元年92万人と31万人の差があります。小規模な活動が増えたのかもしれませんが。清掃活動の参加平均人数は194人から135人に減少しているのは、このような傾向を示していると考えられます。

最近海洋ごみに関する授業が多く、多くの学校で実施されているようです。この度、この報告書の一部が令和6年4月から水産高校で使用される教科書（「海洋環境」）に掲載されます。毎年都道府県の職員の皆様をはじめ多くの方の協力で集めたデータを取りまとめてきましたが、教科書という形で還元することができました。

本報告書が、全国の海、河川、湖沼を清掃している方々の活動にお役立て頂けますと幸いです。

令和6年3月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

業務2課長 福田賢吾

目 次

調査結果の概要	1
1 調査方法	
1-1 調査の手順	2
1-2 調査票の配布先と回収状況	3
2 調査結果	
2-1 活動の規模	14
2-2 ごみの回収状況	29

調査結果の概要

海浜等清掃活動実施状況調査は、全国 47 都道府県に調査票を配布し、その回答を集計した。(37 都道府県から回答があった。表 1 参照)

■活動回数及び活動場所

令和 5 年(1-12 月)は、全国で 17,193 回の清掃活動が行われ、61 万人が参加した。

(令和 3 年は 11,588 回 43 万人、令和 4 年は 16,935 回 61 万人)

清掃活動を行った時期は、6 月、7 月、8 月が多く、この 3 ヶ月で全体の約 38%にあたる 6,531 回の活動が行われた。

参加人数を清掃場所別にみると、海岸と河川での清掃活動が多く、海岸の清掃に参加した人数は 53 万人、河川の清掃に参加した人数は 6 万人と、この 2 ヶ所で全体の 97% (59 万人) を占めていた。

清掃距離を参加人数で除した 1 人あたりの清掃距離は、海岸が 27m、河川が 27m、湖岸が 19m であった。

■主催者及び参加者

清掃活動の主催者、参加者ともに「地域関係(自治会・子供会・商工会など地域に根差した組織)」の割合が高く、主催者では 34%、参加者では 35%を占めていた。また、「行政」は主催者で 16%、「企業関係」は参加者で 19%を占め、「地域関係」に次いで大きな役割を果たしていた。

参加者の内訳は、成人男子が 60.8%、成人女子が 21.9%、大学生が 1.4%、中・高校生が 8.5%、小学生以下が 7.5%であった。

■ごみ回収量

ごみの回収量は、全体で約 4 万 m³(重量換算で約 8,000 トン)であった。なお、ここでのごみ回収量は、ごみの種類別の量を把握しているものと、総量のみ把握しているものと合計値である。

清掃場所別では海岸が約 2 万 9 千 m³と最も多く、次いで河岸が約 9.5 千 m³で、この 2 つを合わせると全体の 97%を占めた。

参加者 1 人あたりのごみ回収量は、海域(海上)が最も多く 0.26 m³、次いで海岸が 0.10m³、湖域(湖上)が 0.05m³、湖岸が 0.05m³と続き、最も少なかったのは河川の 0.03 m³であった。

汀線 1 kmあたりのごみ回収量は、海岸の 2.67m³ が最も多かった。

調査方法

1-1 調査の手順

本調査は、基本的に図 1 に示す手順で実施した。

清掃活動で回収したごみの量（単位）は、報告者が簡単に記入できるよう体積（ m^3 ）表記とした。

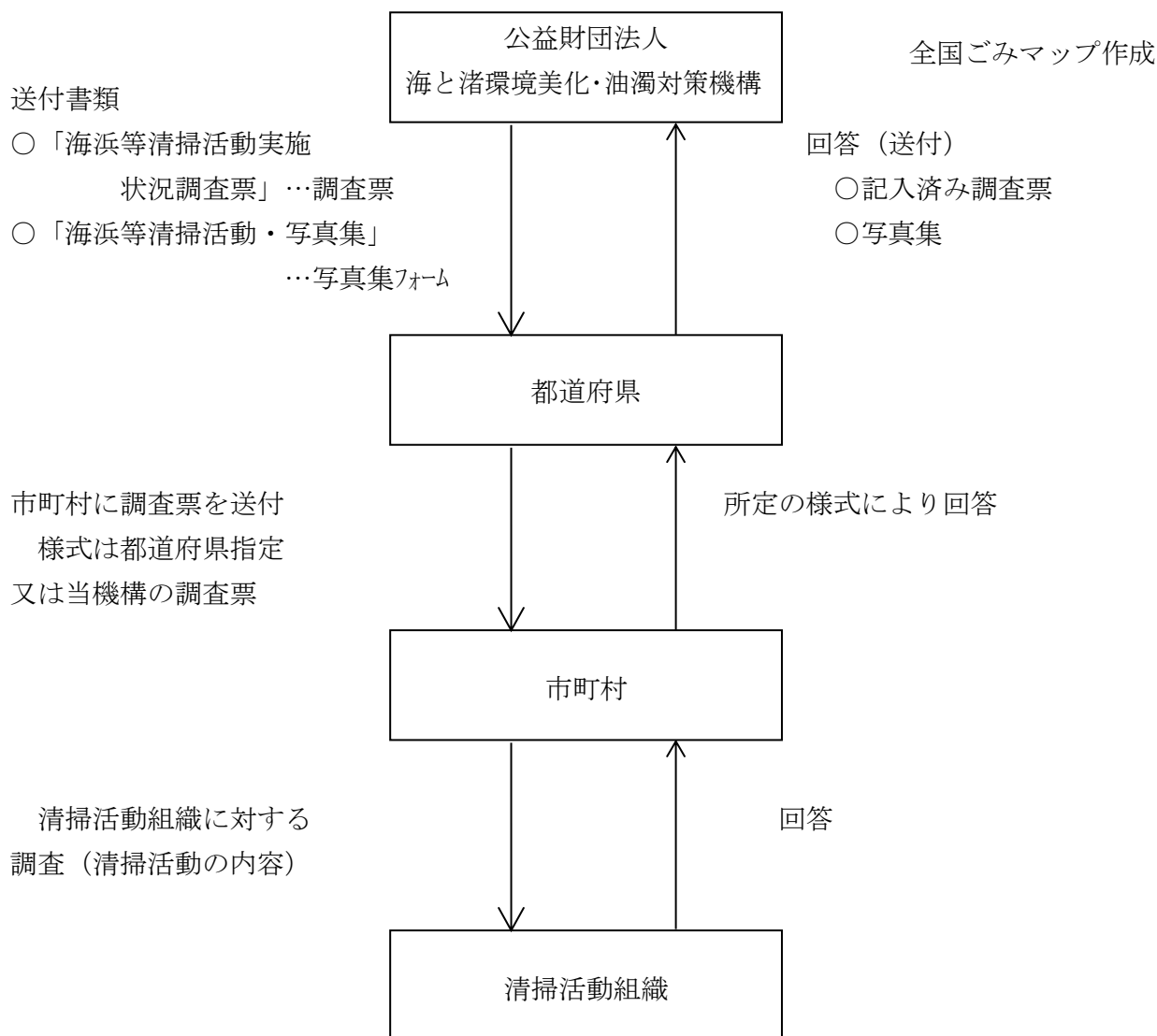


図 1 全国ごみマップ作成手順

1-2 本調査票の配布先と回収状況

調査票は全都道府県（47 都道府県）に配布し、表 1 に示す 37 都道府県から回答を得た。

表 1 調査票の回収状況

整理 番号	都道府県名	回収	整理 番号	都道府県名	回収
1	北海道	○	25	島根県	○
2	青森県	○	26	岡山県	○
3	岩手県	○	27	広島県	○
4	宮城県	○	28	山口県	○
5	秋田県	○	29	徳島県	○
6	山形県	○	30	香川県	○
7	福島県	○	31	愛媛県	○
8	茨城県	○	32	高知県	
9	千葉県	○	33	福岡県	○
10	東京都	○	34	佐賀県	○
11	神奈川県	○	35	長崎県	○
12	新潟県	○	36	熊本県	○
13	富山県	○	37	大分県	○
14	石川県	○	38	宮崎県	○
15	福井県	○	39	鹿児島県	○
16	静岡県	○	40	沖縄県	
17	愛知県	○	41	栃木県	
18	三重県	○	42	群馬県	
19	滋賀県		43	埼玉県	
20	京都府		44	山梨県	
21	大阪府	○	45	長野県	
22	兵庫県	○	46	岐阜県	○
23	和歌山県	○	47	奈良県	
24	鳥取県	○	回収数		37

注：網掛け部分は回答が得られなかった府県

調査票（1）

海浜等清掃活動実施状況調査票の記入について (個別調査票の場合)

本調査票の作成にあたっては、以下の要領にしたがって作成願います。

- 1) 令和5年(1-12月)の実績を記載して下さい。
- 2) 清掃活動が数日にわたる場合には連続する清掃活動は1回として記入して下さい。
- 3) 把握している範囲の内容について記入して下さい。
- 4) 体積(m³)換算

ごみ問題の検討のためには体積(m³)で把握するほうが判断しやすく、また清掃実施者が簡便に定量的に記入できることから、本調査では体積で集計することとしました。以下に、体積(m³)換算するための目安となる数値を参考として示します。なお、ゴミ袋の体積(容量)が不明な場合は1ゴミ袋=30ℓとして下さい。

また、重量のみ分かる場合、人工物は100kg=1m³、自然物は260kg=1m³、中身不明又は混合物は140kg=1m³で計算して下さい。(この重量→容積への換算値は、平成27年度の環境省の調査報告書(漂着ごみ対策総合検討業務)に記載された数値を採用しています。)

体積(m³)換算の目安

項 目	容 積
マリンブルー 21 ゴミ袋(自然物ごみ用)	1 袋45ℓ
マリンブルー 21 ゴミ袋(人工物ごみ用)	1 袋30ℓ
マリンブルー 21 ゴミ袋(自然物ごみ用) 小	1 袋20ℓ
マリンブルー 21 ゴミ袋(人工物ごみ用) 小	1 袋20ℓ
市販ゴミ袋大(65cm×80cm)	1 袋45ℓ
市販ゴミ袋特大(80cm×90cm)	1 袋70ℓ
ドラム缶：鋼製ドラム1種(200ℓ) (直径約57cm×高さ約85cm)	1 缶200ℓ
軽トラック	1 台
1 t トラック	1 台2m ³
2 t トラック	1 台2.5m ³
4 t トラック	1 台5m ³

海浜等清掃活動実施状況調査票

記入年月日	令和 年 月 日
記入者 氏名	
所属機関	
連絡先所在	都道府県名プルダウン 市 町 村
電話番号	
報告書送信先 メールアドレス	@

調査票 (3)

I. 総括表(Ⅱの個別表以外の情報も含めて下さい)

1. 事業の概要

(1)1年間に清掃活動を行った団体数(実数)

団体

個別表に記載していない団体も含めて下さい。

(2)月別の清掃活動実施回数を入力してください。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

(3)清掃を実施した場所別に清掃を行った距離,面積を入力してください。

	清掃距離 (km) / 面積 (km ²)
海岸 (km)	
海域 (km ²)	
河川 (km)	
湖岸 (km)	
湖域 (km ²)	
計	

(4)参加者数について

1)清掃を実施した場所別に参加者数を入力して下さい。

	参加者延べ人数(人)
海岸	
海域	
河川	
湖岸	
湖域	
計	

2)参加者の内訳 (人数) を入力して下さい。

①成人男子	②成人女子	③大学生	④中・高校生	⑤小学生以下	⑥不明	総数
名	名	名	名	名	名	名

※学生③④⑤については、男女の合計人数を入力してください。

※成人は③④⑤を除く 15 歳以上の方を指します。

※総数は自動で計算します。

調査票 (4)

2. 清掃活動の経費負担について

清掃活動に要する経費の負担（支出）について、以下の関係者毎に件数と金額を入力して下さい。

行政 件 万円	学校関係 件 万円	水産関係 件 万円	海運・港湾関係 件 万円	地域関係 件 万円	総額
青少年団体 件 万円	企業関係 件 万円	マリンレジャー関係 件 万円	環境関係 件 万円	その他 件 万円	件 万円

行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)

学校関係(幼稚園・保育園、小・中・高校、大学、左の職員組合、PTA、学生組織等)

水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁業者組織、漁業団体、水産会社、左の職員組合等)

海運・港湾関係(海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社、港湾団体、左の職員組合等)

地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、同好会、消防団、商工会、商店会、地域ボランティア組織、

ライオンズクラブ・ロータリークラブ地域支部、観光組合、海水浴場組合、左の職員組合等)

青少年団体(ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団等)

企業関係(電力会社、製造業、土木建設業、金融、運送業、サービス業、上記以外の協同組合、左の職員組合等。

ただし、水産関係と海運・港湾関係の企業は除く)

マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体・組織等)

環境関係(海岸(河川等を含む)清掃組織、環境調査・研究組織、環境 NPO・NGO、環境ボランティア、

自然・動植物保護組織等)

その他(個人を含む上記以外のもの)

調査票 (5)

3. 回収したごみの内訳について 個別表に記載していない団体も含めて下さい。

Aー海岸で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自 然 物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計	0		m ³

Bー海域で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自 然 物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計	0		m ³

調査票 (6)

Cー河岸で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自 然 物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計	0		m ³

Dー湖岸で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自 然 物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計	0		m ³

Eー湖域で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自 然 物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計	0		m ³

調査票 (7)

II. 個別表

1. 令和5年の清掃活動一覧(HP等で公開可能な情報のみ入力してください。なお、「回収ごみの処分方法」の個別情報は公開しません。(集計・加工した情報のみ公開)

	市町村名*1	市町村名*1 清掃地が複数の場合は この欄に記入	開催日*2		活動名 大会名*3	主催者名*4 (匿名の場合は 空欄にして 下さい)	区分*5	区分*5 *1が区分*5 *2が区分*5 *3が区分*5 *4が区分*5 *5が区分*5	区分*5 *1が区分*5 *2が区分*5 *3が区分*5 *4が区分*5 *5が区分*5	区分*5 *1が区分*5 *2が区分*5 *3が区分*5 *4が区分*5 *5が区分*5	清掃地名*6	参加者数 (人)	清掃距離 (km)・清掃面積 (km2) *7					回収量 (m3) *8			回収ごみの処分方法*9 (複数回答可)				
			月	日									海岸 (km)	河川 (km)	湖岸 (km)	湖域 (km2)	陸域 (km2)	総量	人工物	自然物	行政 に依頼	民間 に依頼	その他		
例	〇〇〇市		7	20	〇〇〇海岸清掃(7月)	〇〇観光協会					〇〇海岸	10	2	3				5	2	3	○				
	〇〇〇市		8	15	〇〇〇海岸清掃(8月)	〇〇商店会					〇〇海岸	15	1					1	1			○			
		〇〇県△△市	9	23	△△△湖一周清掃	〇〇クラブ					△△△湖	20				2	3	3					○		
1																									
2																		0							
3																		0							
4																		0							
5																		0							
6																		0							
7																		0							
8																		0							
9																		0							
10																		0							
11																		0							
12																		0							
13																		0							
14																		0							
15																		0							
																		0							
合計												0人	0km	0km*	0km	0km	0km*	0m*	0m*	0m*	0件	0件	0件		

行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)

学校関係(幼稚園・保育園、小・中・高校、大学、左の職員組合、PTA、学生組織等)

水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁業者組織、漁業団体、水産会社、左の職員組合等)

海運・港湾関係(海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社、港湾団体、左の職員組合等)

地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、同好会、消防団、商工会、商店会、地域ボランティア組織、

ライオンズクラブ・ロータリークラブ地域支部、観光組合、海水浴場組合、左の職員組合等)

青少年団体(ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団等)

企業関係(電力会社、製造業、土木建設業、金融、運送業、サービス業、上記以外の協同組合、左の職員組合等。

ただし、水産関係と海運・港湾関係の企業は除く)

マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体・組織等)

環境関係(海岸(河川等を含む)清掃組織、環境調査・研究組織、環境 NPO・NGO、環境ボランティア、

自然・動植物保護組織等)

その他(個人を含む上記以外のもの)

*1: 清掃地が属する市区町村名を入力して下さい。なお、所属地と清掃地の都道府県が異なる場合は、清掃地の住所を都道府県名+市区町村名で手入力して下さい。

*2: 月と日を選択して下さい。

*3: 名称が無い場合は空欄にして下さい。

*4: 主催者には「呼びかけ人」を含みます。主催者が複数の場合は、代表者のみ入力して下さい。

*5: 主催者の区分を入力して下さい。主催者の区分(性格)が複数ある場合は、右隣の予備の欄に追加して下さい。予備の欄は2つ用意してあるので、最大3つの区分を入力いただけます。

*5: 地区名、海岸名等を入力して下さい。なお、海域、湖域については〇〇海域、〇〇沖合、〇〇湖東部などと入力して下さい。

*6: 海岸(河川・湖岸)の場合は実際に清掃活動の対象とした距離(km)を、海域(海上・海底)、湖域(湖上・湖底)の場合は探索・回収活動の対象面積(km2)を入力して下さい。

*7: ごみの回収量(人工物、自然物、総量)を入力して下さい。総量しか分からない場合は総量のみ入力して下さい。

*8: 行政が無料又は有料で引き取ってくれる場合は「行政に依頼」、民間の産廃業者などに処分を依頼する場合は「民間に依頼」、再資源化などその他の方法で処分する場合は「その他」を選択して下さい。

調査票 (8)

2. 令和5年清掃活動団体一覧(HP等で公開可能な情報のみ入力してください。なお、「活動資金・物品の調達」の個別情報は公開しません。(集計・加工した情報のみ公開)

例	市町村名 ^{*1}	団体名 (匿名の場合は空欄にしてください)	清掃活動歴 (年数) ^{*2}	区分 ^{*3}	区分予備1 ●区分が複数 ある場合に入力	区分予備2 ●区分が複数 ある場合に入力	区分予備3 ●区分が複数 ある場合に入力	参加形態 ^{*4}	延べ 参加者数 ^{*5}	活動資金・物品の調達 ^{*6} (複数回答可)				
										ア:行政の支 援	イ:民間 団体の 支援	ウ:団体 負担	エ:参加 者負担	エ:その他
例	〇〇町	〇〇海岸美化クラブ	8					主催・参加	10	○	○	○		
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)

学校関係(幼稚園・保育園、小・中・高校、大学、左の職員組合、PTA、学生組織等)

水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁業者組織、漁業団体、水産会社、左の職員組合等)

海運・港湾関係(海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社、港湾団体、左の職員組合等)

地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、同好会、消防団、商工会、商店会、地域ボランティア組織、

ライオンズクラブ・ロータリークラブ地域支部、観光組合、海水浴場組合、左の職員組合等)

青少年団体(ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団等)

企業関係(電力会社、製造業、土木建設業、金融、運送業、サービス業、上記以外の協同組合、左の職員組合等。

ただし、水産関係と海運・港湾関係の企業は除く)

マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体・組織等)

環境関係(海岸(河川等を含む)清掃組織、環境調査・研究組織、環境 NPO・NGO、環境ボランティア、

自然・動植物保護組織等)

その他(個人を含む上記以外のもの)

*1: 団体の本部又は支部の住所地の市区町村名を入力して下さい。

*2: 正確に分からなければ、おおよその年数で構いません。

*3: 団体について、該当する区分を入力して下さい。団体の区分(性格)が複数ある場合は、右隣の予備の欄に追加して下さい。予備の欄は2つ用意してあるので、最大3つの区分を入力いただけます。

*4: 令和5年(1月～12月)に清掃活動を主催(呼びかけを含む)した場合は「主催」を、清掃活動に参加した場合は「参加」を、両方の場合は「主催・参加」を選択して下さい。

*5: 令和5年(1月～12月)に清掃活動に参加した団体関係者(職員・会員等。一時参加者を含む)の人数(累計＝延べ人数)を入力して下さい。

清掃活動を主催(呼びかけを含む)した場合、他団体の参加者は参加者数に含めないで下さい。Ⅱの1の(3)と合計値が異なっても構いません。

*6: 清掃活動に使う資材(ゴミ袋・軍手・トンクなど)や費用について、該当するものをア～エの中から選んで入力して下さい。複数回答可です。

海浜等清掃活動の写真

HP 等で公開可能な写真(清掃前、清掃中、清掃後、回収されたごみ)を送って下さい。
 どの清掃活動の写真か判別できるよう、下段 No.の欄にⅡの「1. 令和5年の清掃活動一覧」の
 表の左端の番号を入力して下さい。

都道府県名プルダウン	市 町 村	No.
清掃前 (ごみが散乱集積している海岸等の写真)		
都道府県名プルダウン	市 町 村	No.
清掃中 (清掃作業の状況等)		

海浜等清掃活動・写真集

都道府県名プルダウン

市 町 村 No.

清掃後
(きれいになった海岸等の写真)

都道府県名プルダウン

市 町 村 No.

回収されたごみ
(ごみの種類が判別出来るような写真)

2 調査結果

2-1 活動の規模

(1) 活動回数

月別の活動回数と割合を図 2 及び図 3 に示す。

令和 5 年には、全国で 17,193 回(令和 3 年は 11,588 回、令和 4 年は 16,935 回)の清掃活動が行われた。特に 6 月、7 月、8 月は活動回数が多く、全体の 4 割(38%)を占めた。

また、5 月から 10 月までの半年間で全活動の 7 割(66%)が行われていた。

図 2 月別活動回数

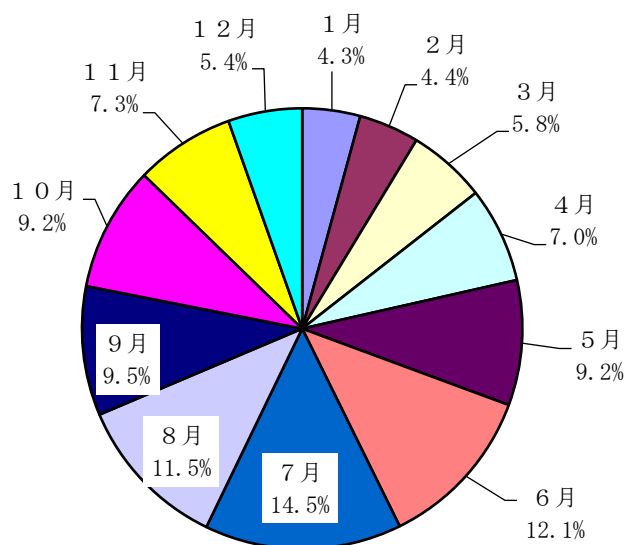
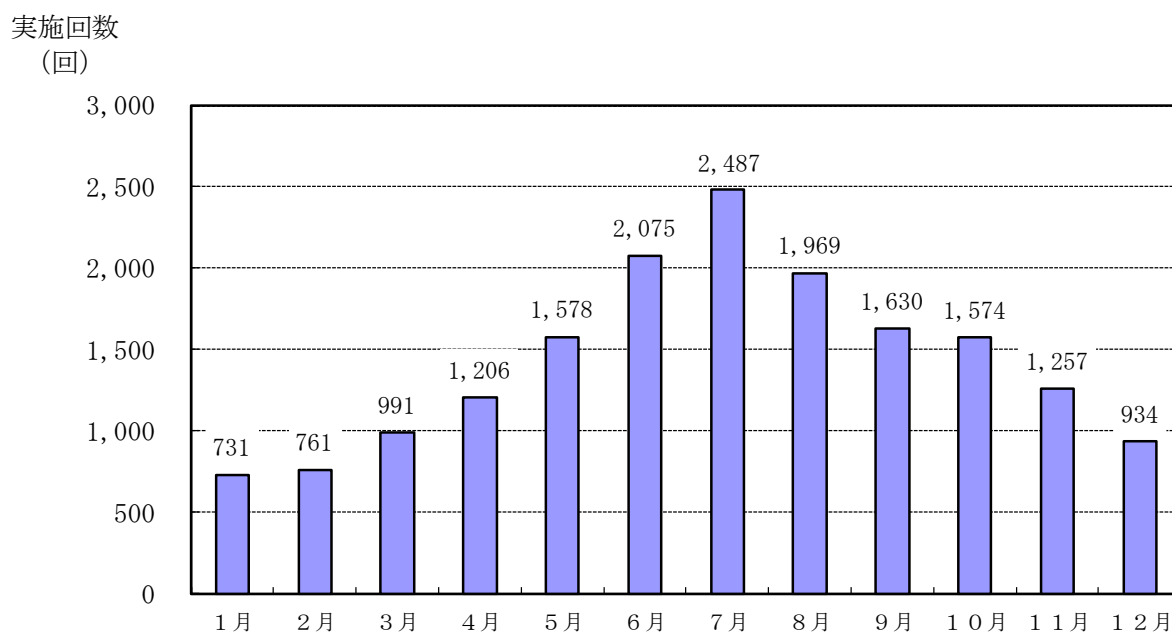


図 3 月別活動回数(割合)

(2) 清掃活動を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

清掃活動を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数を表 2 に、清掃活動を実施した場所別の参加人数の割合を図 4 に、参加者 1 人あたりの清掃距離を図 5 に示す。

清掃活動の参加人数は、61 万人(令和 3 年は 43 万人、令和 4 年は 61 万人)であった。参加人数を活動場所別にみると、海岸(53 万人)と河川(6 万人)での活動が多く、この 2 つをあわせると全参加人数の殆ど(97%)を占めた。

清掃距離は、海岸が 14,533km、河川が 1,754km、湖岸が 154km であった。また、海域(海上)の清掃面積は 371 km²、湖域(湖上)の清掃面積は 37 km² であった。

清掃距離を参加人数で除した 1 人あたりの清掃距離は、海岸で 28 m、河川で 27 m、湖岸で 19 m であった。

表 2 清掃活動実施場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

		全体	海岸	海域	河川	湖岸	湖域
参加人数(人)		608,473	528,322	5,711	64,054	8,165	2,221
清掃距離	距離(km)	16,441	14,533	—	1,754	154	—
	面積(km ²)	408	—	371	—	—	37

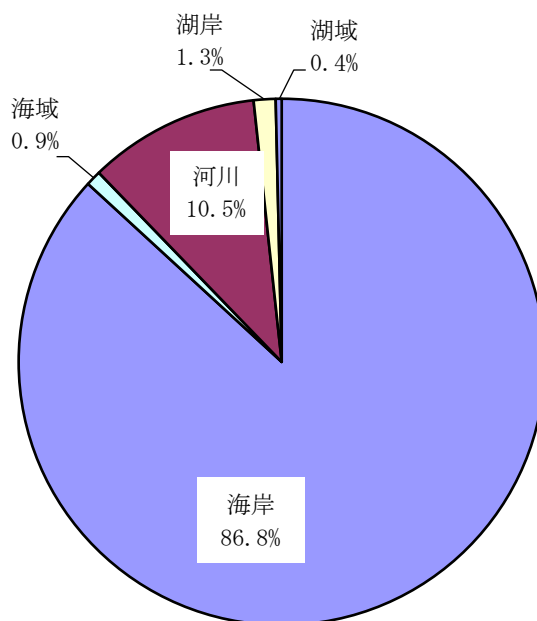


図 4 清掃活動実施場所別の参加人数 (割合)

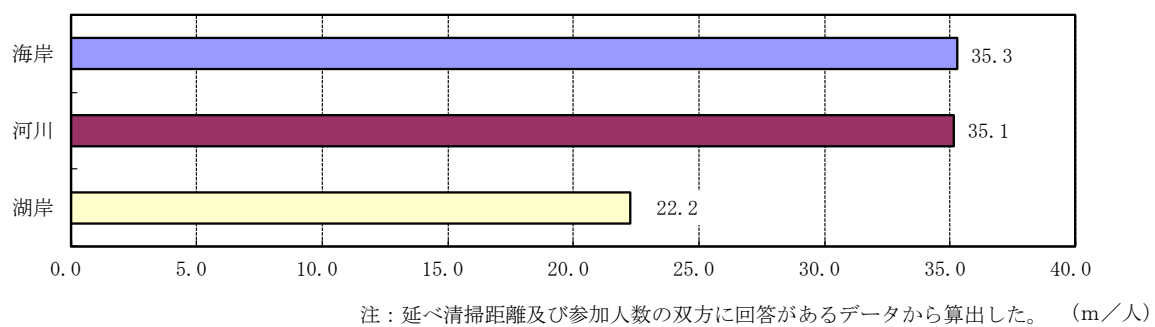


図 5 清掃活動参加者 1 人あたりの清掃距離

(3) 清掃活動参加者の構成

清掃活動参加者の構成を図 6 に示す。

清掃活動参加者の内訳は、成人男子が60.8%、成人女子が21.9%、大学生が1.4%、中・高校生が8.5%、小学生以下が7.5%であった。

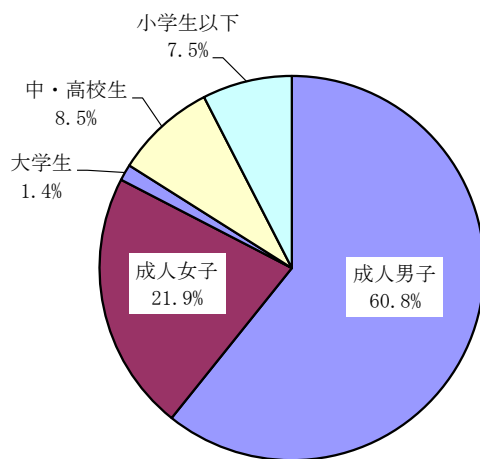


図 6 清掃活動参加者の構成割合

（４）清掃活動１回当たりの参加者数（主催団体別）

清掃活動１回当たりの参加者数を主催団体別に見ると表３のとおりになる。これを見ると、清掃活動に参加する人の数は、個々の活動で大きな開きがある(1グループで参加者２人から73,123人まで多彩)。また、いずれの団体においても参加者数の中央値は８人から41人であり、清掃活動の中心が10人前後から数十人規模の比較的小コンパクトなグループであるという点では同じである。なお、「行政」、「地域関係」、「環境関係」が開催(主催)した清掃活動と、複数の団体が共同で開催(共催)した清掃活動においては、1度の開催(主催)で1,000人以上の参加者が集う事例が各々十数例あった。(参加者が5,000人以上の事例は14例、10,000人以上の事例は4例(最大は73,123人)で、いずれも主催団体は「行政」であった。) なお、個人(1人)の清掃活動は、今回の分析に含めていない。

表 3 主催団体別参加者数

主催団体	最小 参加者数(人)	最大 参加者数(人)	中央値 (人)	平均値 (人)
行政	2	73123	24	561
学校関係	3	954	41	83
水産関係	2	1045	19	42
海運・港湾関係	3	87	8	14
地域関係	2	1389	20	52
青少年関係	5	800	25	83
企業関係	2	2000	22	56
マリンレジャー関係	2	150	24	28
環境関係	2	2719	20	138
その他	2	3625	10	32
複数団体共催	2	2500	41	157

表 4 団体の区分

行政	国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等
学校関係	幼稚園・保育園、小・中・高校、職員組合、PTA、学生組織等
水産関係	漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁業者組織、漁業団体、水産会社、職員組合等
海運・港湾関係	海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社、港湾団体、職員組合等
地域関係	自治会、町内会、老人会、子供会、同好会、消防団、商工会、商店会、地域ボランティア組織、ラインズクラブ・ロータリークラブ地域支部、観光組合、海水浴場組合、職員組合等
青少年団体	ボーイ（ガール）スカウト、スポーツ少年団等
企業関係	電力会社、製造業、土木建設業、金融、運送業、サービス業、上記以外の協同組合、職員組合等。ただし、水産関係と海運・港湾関係の企業は除く
マリンレジャー関係	釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体・組織等
環境関係	海岸(河川等を含む)清掃組織、環境調査・研究組織、環境 NPO・NGO、環境ボランティア、自然・動植物保護組織等
その他	個人を含む上記以外のもの

(5) 主催団体別の清掃活動参加者数

主催団体別の清掃活動参加者数(割合)を図7に示す。これを見ると、1位は「行政」で全体の6割(59%)、2位は「地域関係」で全体の1割(13%)を占めており、この2つの団体が開催(主催)した清掃活動だけで、清掃活動参加者全体の7割(72%)を占めていた。

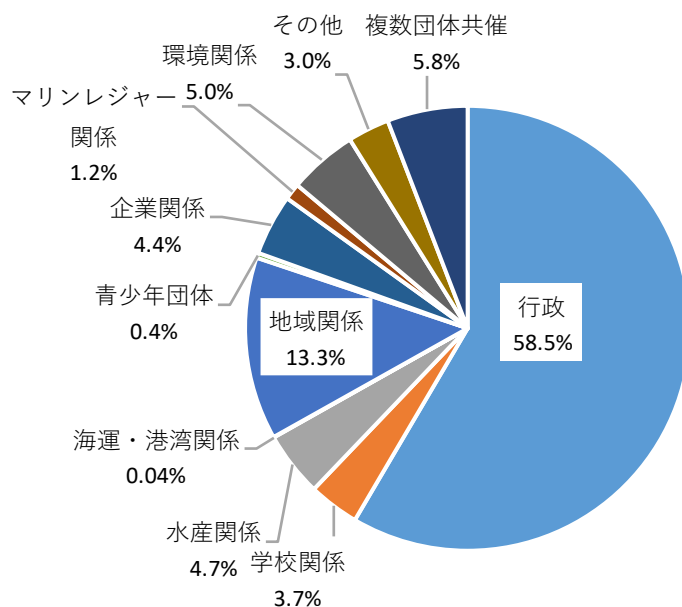


図7 主催団体別の清掃活動参加者数(割合)

(6) 清掃活動の主催回数(団体別)

団体別の清掃活動の主催回数(割合)を図8に示す。これを見ると、1位は「地域関係」で全体の3割(34%)、2,3位は「行政」と「水産関係」で合わせて全体の3割(31%)を占めており、この3つの団体で清掃活動の7割(65%)を開催(主催)していた。

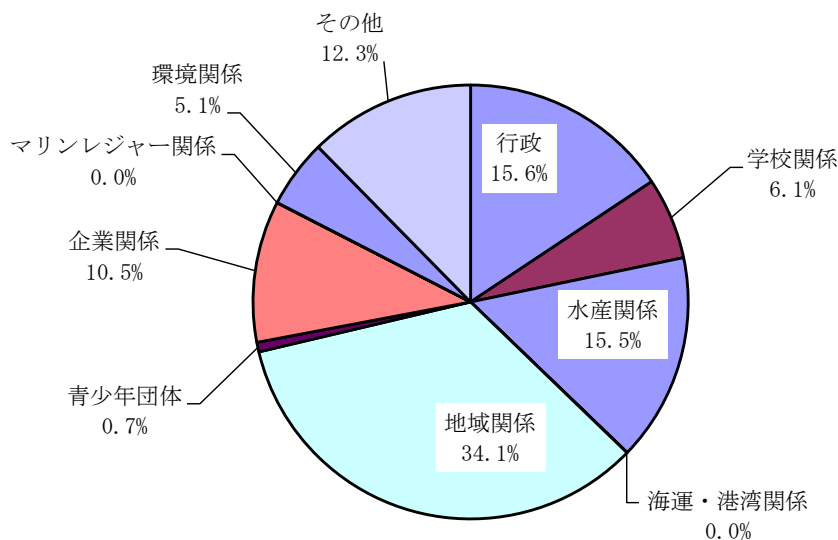


図8 団体別の清掃活動主催回数(割合)

(7) 清掃活動に参加した団体(3016 団体が回答)

清掃活動に参加した団体（清掃活動の主催及び他団体が主催した清掃活動への参加）の割合は以下の図 9 のとおりである。清掃活動に参加した団体は、多い順に地域関係（35%）、企業関係(19%)、水産関係(15%)、行政(12%)、学校関係(8%)の順であり、全 10 団体のうち上位 3 団体で全体の 7 割（68%）を占めた。

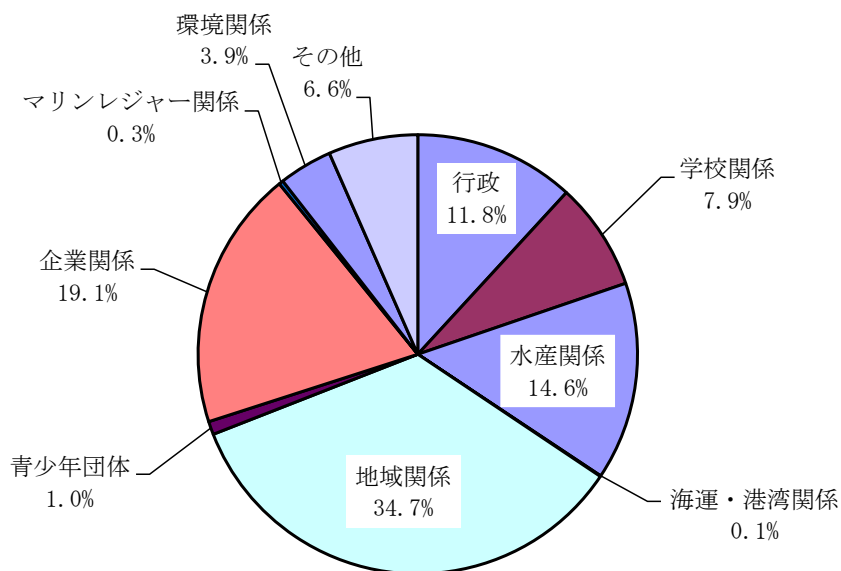


図 9 清掃活動に参加した団体（割合）

(8) 清掃活動の主催と参加（全体）

清掃活動団体による清掃活動の主催及び他団体が主催した清掃活動への参加状況を図 10 に示した。これによれば、清掃活動を主催した団体（他団体の清掃活動へは参加しない）は全体の 22%、他団体が主催した清掃活動に参加（主催はしない）した団体は 25%、その両方（主催と参加）を行った団体は 53%であった。

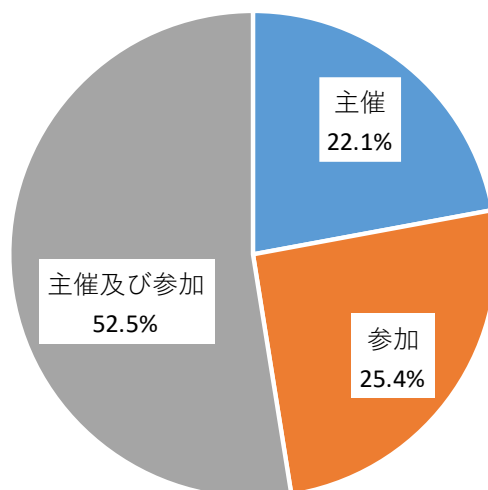


図 10 清掃活動の主催と参加（全団体）（1725 団体が回答）

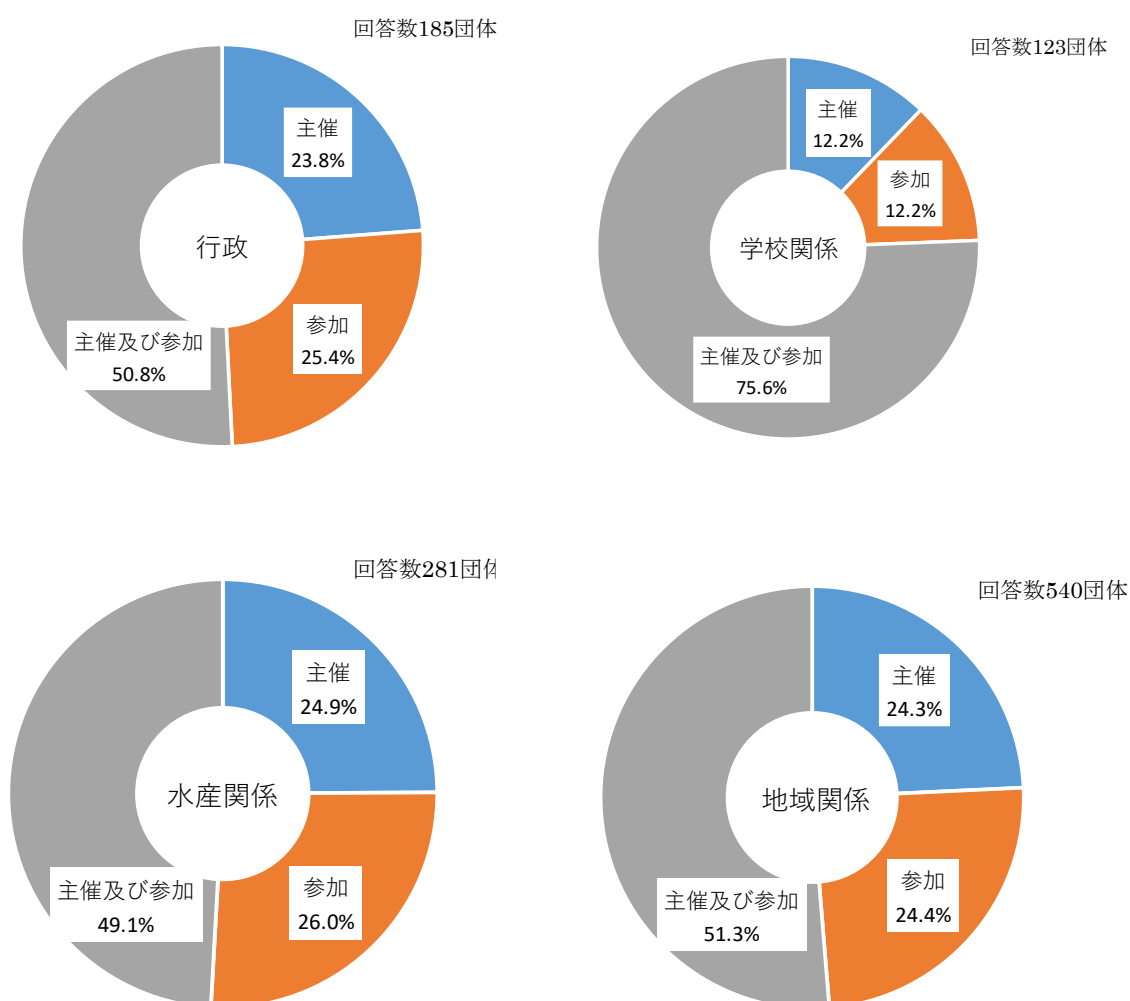
注)「主催」：清掃活動を主催した団体

「参加」：他団体が主催した清掃活動に参加した団体

(9) 清掃活動の主催と参加（団体別）

団体別に、清掃活動の「主催」、清掃活動への「参加」、清掃活動の「主催及び参加」の割合を図11に示した。（海運・港湾関係の円グラフは回答数が少なかったため割愛（回答数1件、うち主催0件、参加0件、主催及び参加1件））

海運・港湾関係を除いた9種類の団体の内訳を見ると、「参加」は「企業関係」が突出して割合が高く、他団体が10-26%の中、39%と4割近くを占めた。また、「主催及び参加」の割合は、いずれの団体でも50%近くか、それ以上の割合を占め、最も高かった。特に「環境関係」と「学校関係」は高い割合を示し、それぞれ67%と76%であった。このことは、多くの団体が、「主催」、「参加」といった形に拘ることなく、時と場合に応じて、「主催」、「参加」の立場を柔軟に使い分けながら、清掃活動に積極的に取り組んでいる証左である。



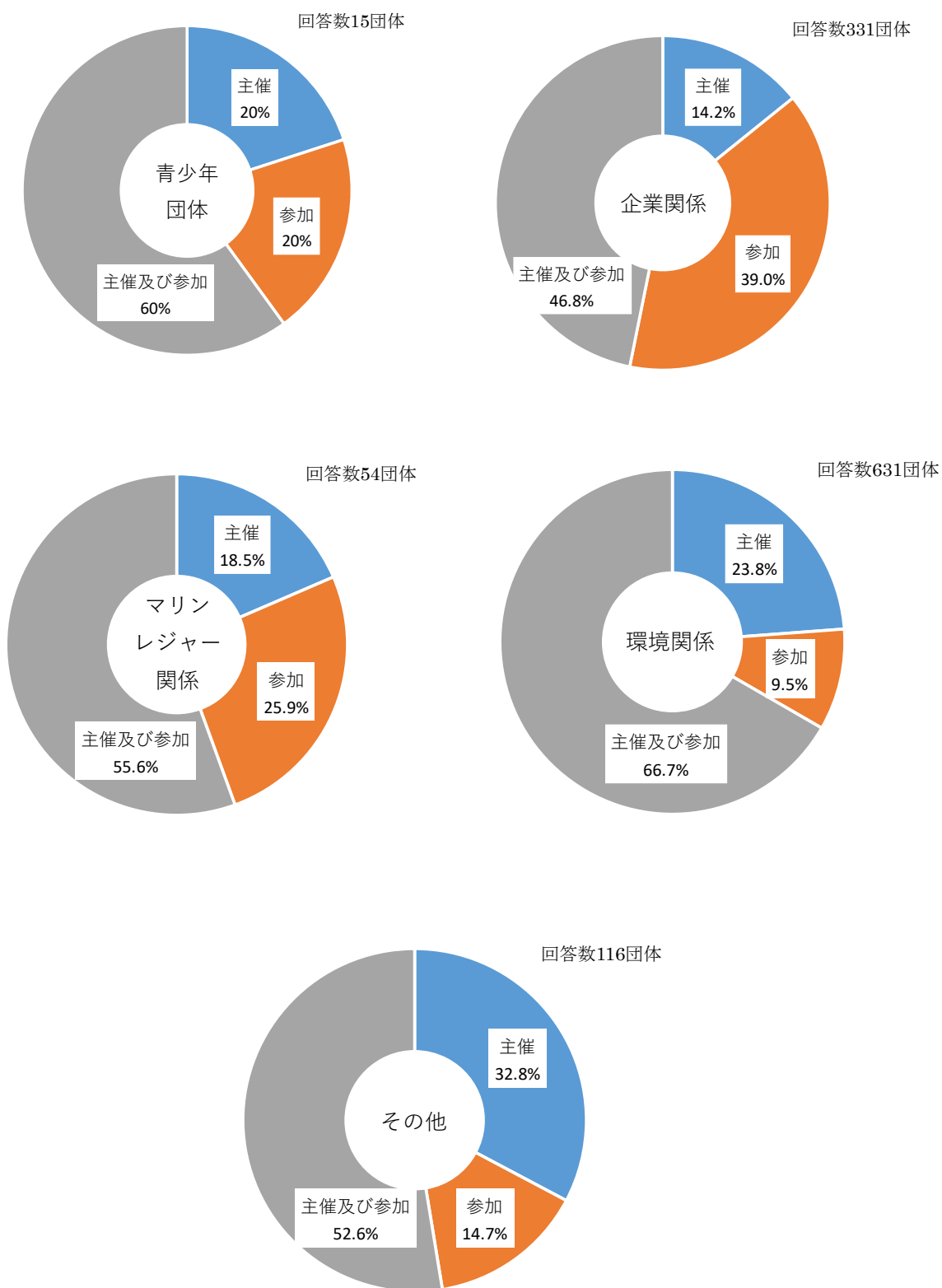


図 11 清掃活動の主催と参加（団体別）

注) 四捨五入の関係上、合計が 100%にならない場合がある。

(10) 清掃活動団体の動員数(1947 団体が回答)

令和 5 年に海岸等水辺の清掃活動に参加した団体について、動員数別団体数及び動員数別参加者数を表 5 及び図 12 に示す。内訳を見ると、動員数 50 人未満の団体は全体(1591 団体)の 55%、50～100 人未満の団体は 18%、100～500 人未満の団体は 22%、500 人～1000 人未満の団体は 2.5%、1000 人～10000 人未満の団体は 2.0%、そして 10,000 人以上の団体は 0.1%であった。

一方、動員数 50 人未満の団体の参加者が全参加者に占める割合は 8%、50～100 人未満の団体は 9%、100～500 人未満の団体は 33%、500 人～1,000 人未満の団体は 13%、1,000 人～10,000 人未満の団体は 29%、そして 10,000 人以上の団体は 10%であった。活動団体のうち参加者の最少は 1 人（個人で活動）であった。

表 5 動員数別団体数・参加者数

動員数	団体数(%)	参加者合計(%)	参加者平均(人)
10 人未満	248 (15.6%)	1,110 (0.5%)	4.5
10～30 人未満	404 (25.4%)	7,025 (3.3%)	17.4
30～50 人未満	230 (14.5%)	8,588 (4.0%)	37.3
50～100 人未満	284 (17.9%)	18,685 (8.7%)	65.8
100～300 人未満	284 (17.9%)	45,393 (21.1%)	159.8
300～500 人未満	68 (4.3%)	24,806 (11.5%)	364.8
500～1,000 人未満	39 (2.5%)	26,811 (12.5%)	687.5
1,000～10,000 人未満	32 (2.0%)	61,121 (28.5%)	1910.0
10,000 以上	2 (0.1%)	21,250 (9.9%)	10625.0
合 計	1,591(100.0%)	214,789(100.0%)	135.0

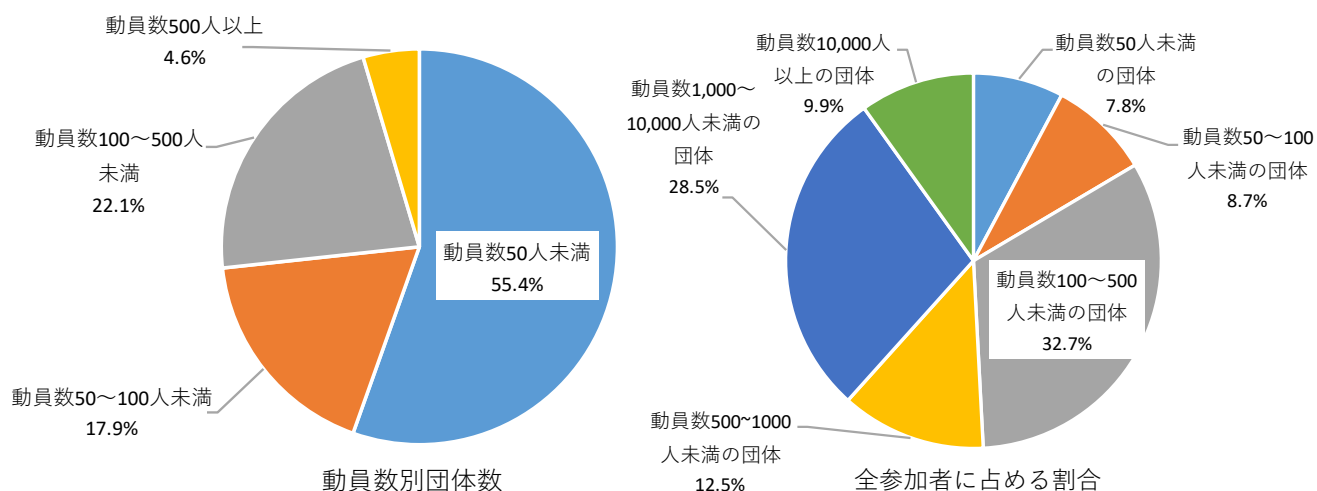


図 12 動員数別団体数と参加者数 (割合)

注) 参加者 214, 789 人は本報告書 3-1(2) 清掃活動参加者数 608, 437 人の内数です。

(1 1) 清掃活動で回収したごみの処分方法（複数回答）

清掃活動で回収したごみの処分方法（依頼先）を図 15 に示した。

依頼先で最も多かったのは「行政」で 3,286 件(84%)であった。

その他の依頼先としては「民間」と「その他」があり、このうち「民間」は 521 件(13%)、「その他」は 126 件(3%)であった。

この結果からも判る通り、依頼先は 1 か所だけの場合が殆どであり、複数箇所への依頼は 50 件程度(全体の 1%)に過ぎない。

表 6 回収ごみの処分方法（依頼先）

行政	民間	その他	実回答数
3,286 件 (85%)	521 件 (13%)	126 件 (3%)	3,882 件

(12) 活動資金・物品の調達(複数回答)

清掃活動に必要な資金・物品の調達先を表7及び図13に示した。活動資金・物品の調達先で最も多かったのは「行政」で1053件(77%)、次に「自己資金」435件(32%)、「参加者負担」288件(21%)、「民間」91団体(7%)と続き、最も少なかったのは「その他」の79件(6%)であった。

このうち、図13に示した通り、活動資金・物品の調達先が「行政のみ」であった件数は526件(38%)、「自己資金のみ」であった件数は162件(12%)、「参加者負担のみ」であった件数は79件(6%)、「その他のみ」であった件数は33件(2.3%)で、最も少なかったのは「民間のみ」で24件(1.7%)であった。他方、「自己資金」を含めて複数からの資金・物品を清掃活動に活用している件数は539件(40%)であった。

表7 活動資金・物品の調達先

行政	民間	自己資金	参加者負担	その他	実回答数
1,053 件 (526 件)	91 件 (24 件)	435 件 (162 件)	288 件 (79 件)	79 件 (33 件)	1,363 件

注) 括弧内は活動資金・物品の調達先が当該団体のみであった件数である。

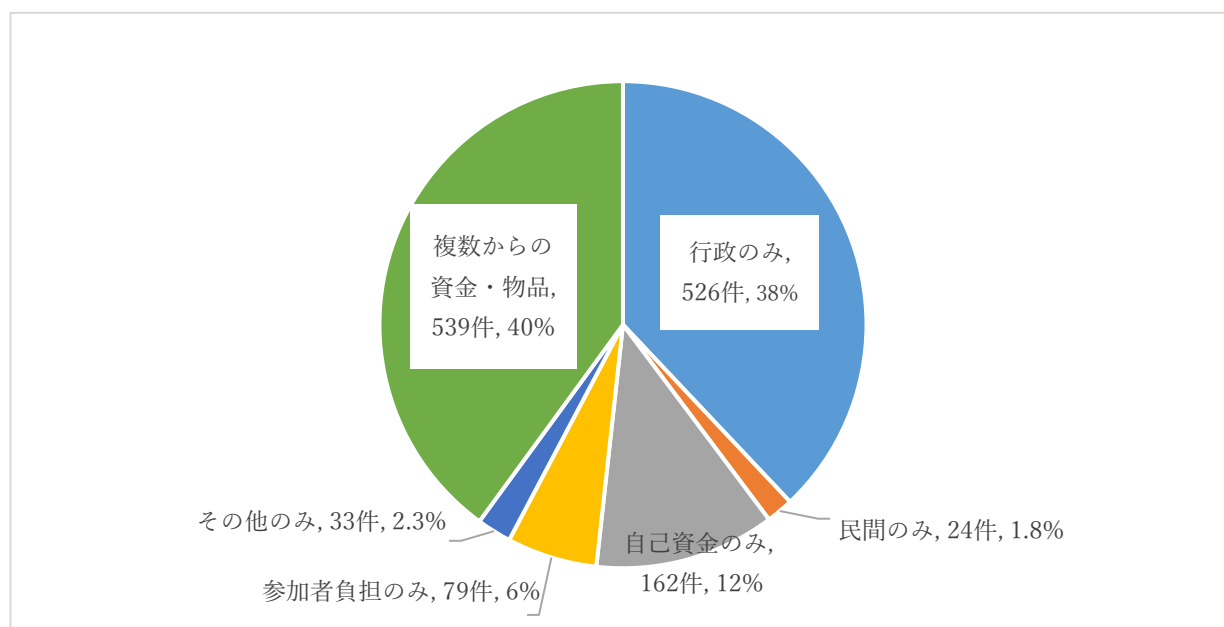


図13 活動資金・物品の調達先

(13) 清掃活動経費の支出額と支出件数

清掃活動経費の支出額と支出件数を表8に示した。このうち支出額については、「行政(国・自治体・外郭団体等)」が全体の9割(89%)を占め、次いで「水産関係(漁協・漁連・水産会社等)」が5%、「地域関係(自治会・子供会・商工会など地域に根差した組織)」が4%と、この3つで支出額の殆ど(98%)を占めた。

また、支出件数は総数で9901件、うち「行政」8244件(83%)、「地域関係」633件(6%)、「水産関係」468件(5%)で、支出額同様、この3つで支出件数の殆ど(94%)を占めた。

次に団体別に清掃活動1件あたりの支出額を図14に示した。これを見ると、「海運・港湾関係」が21.8万円で最も多く、次いで「水産関係」が10.6万円、「行政」が10万円であった。一方、少ない方では「マリンレジャー関係」が0.2万円、「学校関係」が0.4万円、「企業関係」が1.9万円、「青少年団体」が2.9万円、「地域関係」と「環境関係」が各5.7万円であった。

これらのことから、支出金額(1件あたりを含む)、支出件数のいずれにおいても、海浜等清掃活動における「行政」の役割が非常に高いことが伺われる。

表8 清掃活動経費の支出額と支出件数

(金額：万円)

行政	学校関係	水産関係	海運・港湾関係	地域関係	青少年団体	企業関係	マリンレジャー関係	環境関係	その他
82,162 (8,244)	28 (65)	4,978 (468)	218 (10)	3,581 (633)	26 (9)	221 (115)	15 (79)	176 (31)	1,031 (248)

注)括弧内は支援件数

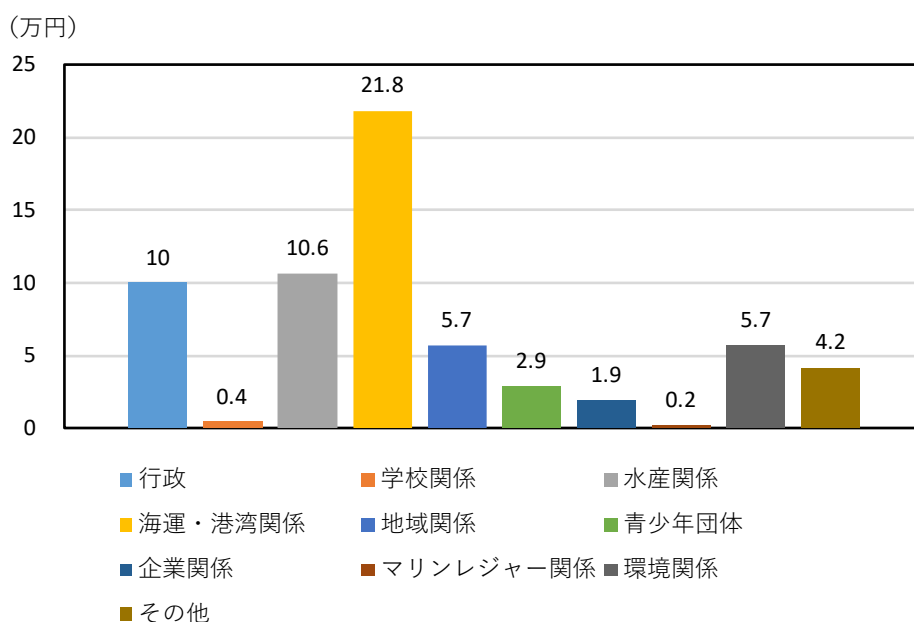


図14 清掃活動経費の支出額(清掃活動1件あたり)

(14) 団体の活動年数（回答数 849 件）

清掃活動年数を表 9 及び図 15 に示す。清掃活動を行う団体の活動年数をみると、回答数の 24.9%が 5 年未満、6.8%が 5 年以上 10 年未満、22.4%が 10 年以上 20 年未満、45.9%が 20 年以上であった。このことから、長年に亘り継続して清掃活動に取り組んでいる団体が多い(10 年以上 68.3%)中、新たに清掃活動に参加する団体も着実に出てきている(5 年未満 24.9%)ことが分かる。なお、活動年数の最長は 27 年（20 年以上と回答した者を除く）、最短は 1 年であった。

表 9 団体の活動年数

5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上
211 件 (24.9%)	58 件 (6.8%)	190 件 (22.4%)	390 件 (45.9%)

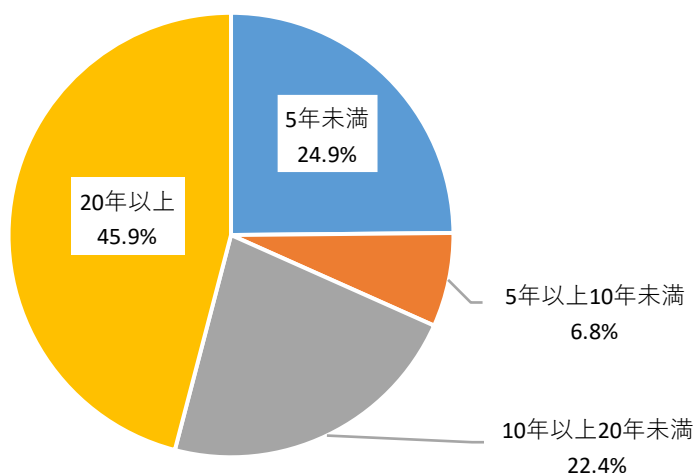


図 15 清掃活動を行った団体の活動年数

2-2 ごみの回収状況

(1) ごみの回収量

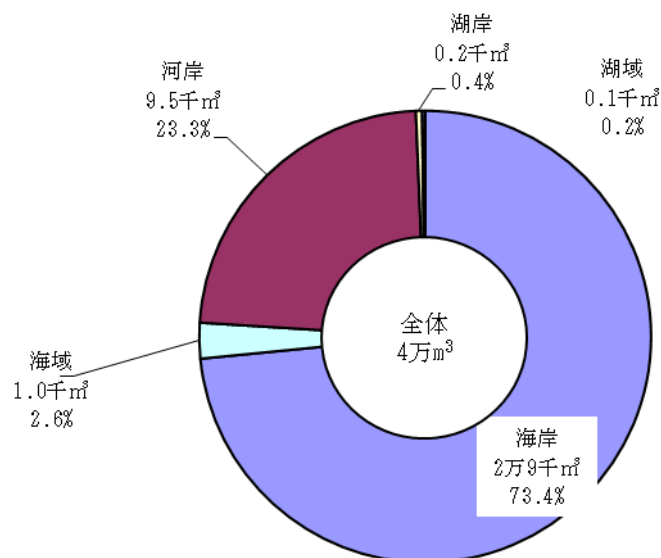
清掃場所別のごみ回収量とその割合を図 16 に、参加者 1 人あたり及び汀線 1km あたりのごみ回収量をそれぞれ図 17 及び図 18 に示す。

ごみの回収量は、全体で 4 万 m^3 (8,000 トン) であった。なお、この回収量はごみの種類を把握しているものと、総量のみ把握しているものの合計値である。

清掃場所別では海岸が 2 万 9 千 m^3 と最も多く、次いで河岸が 9.5 千 m^3 で、この 2 つを合わせると全体の 97% を占めた。

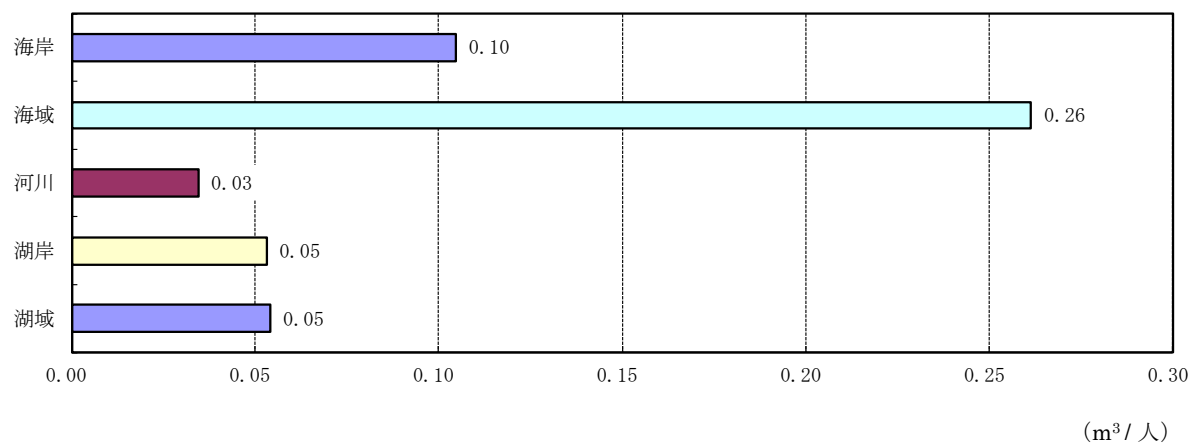
参加者 1 人あたりのごみ回収量は、海域が最も多く 0.286 m^3 、次いで海岸が 0.10 m^3 、湖域が 0.05 m^3 、湖岸が 0.05 m^3 となっており、最も少なかったのは河川で 0.03 m^3 であった。

汀線 1 k m あたりのごみ回収量は、海岸が 2.67 m^3 / km で最も多かった。



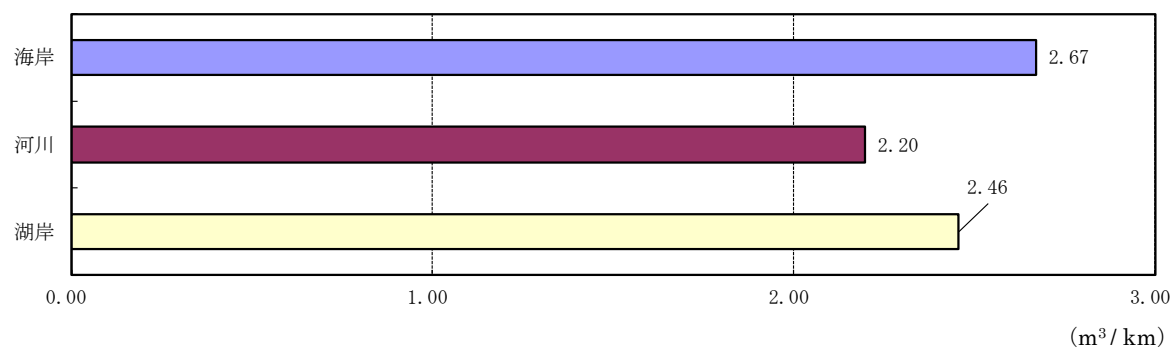
注：各値は四捨五入してあるため、合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。

図 16 ごみ回収量とその割合



注：場所別の参加人数及びごみ回収量の双方に回答があるデータから算出した。

図 17 参加者 1 人あたりのごみ回収量



注：延べ清掃距離及びごみ回収量の双方に回答があるデータから算出した。

図 18 汀線 1 k m あたりのごみ回収量

(2) ごみの種類

清掃を実施した場所別のごみ回収量及びその種類を表 10 及び図 19.1～図 24.2 では、「種類を把握しているごみ」について、場所別に人工物と自然物の種類別構成割合を示す。

「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」を合計した場合の人工物と自然物の割合(比率)はおおよそ 4 : 3 であった。また、「種類を把握しているごみ」のうち人工物と自然物について、各々種類別の構成割合をみると、人工物では「人工物その他」が全体の 6 割、自然物では「流木」が全体の 9 割を占めていた。

「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」について清掃場所別に人工物と自然物の割合(比率)を見ると、海岸で 3 : 1、海域で 1 : 1、河岸で 1 : 9、湖岸で 5 : 1、湖域で 4 : 5 であった。

表 10 種類別のごみ回収量

単位 : m³

項目	種類	全体	海岸	海域	河岸	湖岸	湖域
種類を把握しているごみ	布・紙	233 (2.0%)	175 (1.7%)	0 (0.0%)	58 (7.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	材木、木片等	369 (3.2%)	249 (2.4%)	60 (14.2%)	60 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ペットボトル	1,652 (14.3%)	1,616 (15.8%)	12 (2.9%)	24 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	弁当箱、トレイ	97 (0.8%)	85 (0.8%)	1 (0.1%)	12 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ロープ、網	413 (3.6%)	389 (3.8%)	12 (2.9%)	12 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	フロート、ブイ	332 (2.9%)	240 (2.4%)	91 (21.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	缶類	1,784 (15.5%)	1,752 (17.1%)	8 (1.8%)	22 (2.7%)	0 (0.0%)	3 (8.2%)
	ガラス	146 (1.3%)	134 (1.3%)	0 (0.0%)	12 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	人工物その他	6,499 (56.4%)	5,578 (54.6%)	238 (56.5%)	606 (75.1%)	40 (100.0%)	36 (91.8%)
	人工物計	11,526 (100.0%)	10,218 (100.0%)	421 (100.0%)	807 (100.0%)	40 (100.0%)	39 (100.0%)
	流木	3,481 (92.8%)	2,841 (96.1%)	299 (68.5%)	279 (94.4%)	16 (0.0%)	46 (100.0%)
	海草・水草	54 (1.4%)	43 (1.4%)	1 (0.3%)	10 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	自然物その他	216 (5.7%)	73 (2.5%)	137 (31.3%)	6 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	自然物計	3,751 (100.0%)	2,956 (100.0%)	437 (100.0%)	295 (100.0%)	16 (0.0%)	46 (100.0%)
	小計	15,277 -	13,174 -	859 -	1,102 -	56 -	85 -
種類を把握していないごみ	人工物ごみ	7,057 (38.4%)	6,809 (69.0%)	27 (51.4%)	143 (1.7%)	77 (88.6%)	0 (0.0%)
	自然物ごみ	11,341 (61.6%)	3,061 (31.0%)	26 (48.6%)	8,244 (98.3%)	10 (11.4%)	0 (0.0%)
	小計	18,398 (100.0%)	9,870 (100.0%)	53 (100.0%)	8,387 (100.0%)	87 (100.0%)	0 (0.0%)
人工物ごみと自然物ごみ	人工物ごみの合計	18,583 (55.2%)	17,027 (73.9%)	449 (49.2%)	950 (10.0%)	118 (82.1%)	39 (45.8%)
	自然物ごみの合計	15,092 (44.8%)	6,018 (26.1%)	463 (50.8%)	8,539 (90.0%)	26 (17.9%)	46 (54.2%)
	小計	33,675 (100.0%)	23,045 (100.0%)	912 (100.0%)	9,489 (100.0%)	143 (100.0%)	85 (100.0%)
総量のみ把握		7,010 -	6,834 -	125 -	9 -	39 -	2 -
合計		40,685 -	29,879 -	1,038 -	9,498 -	183 -	87 -

注：各欄の値は四捨五入してあるため、人工物計・自然物計・合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。

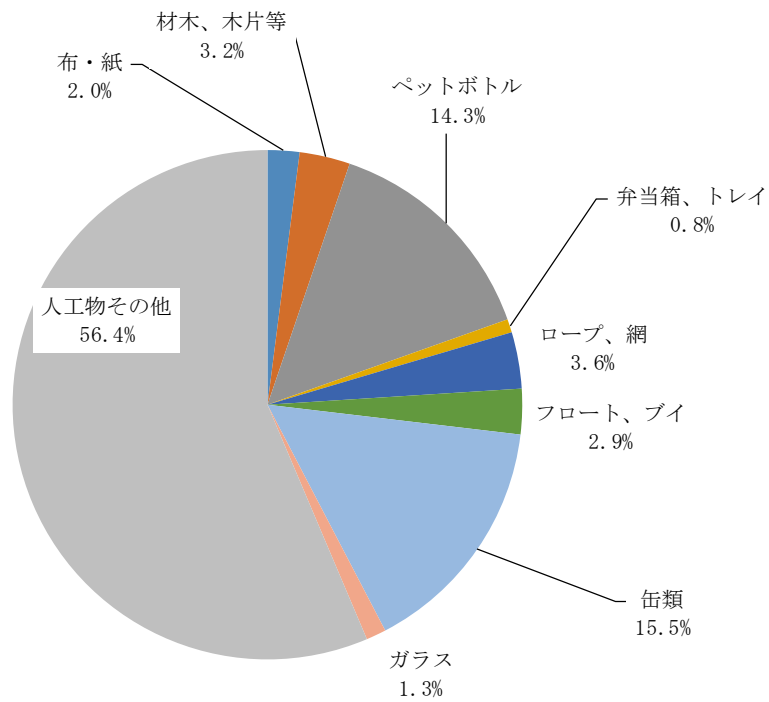


図 19.1 人工物ごみの種類別割合（全体）

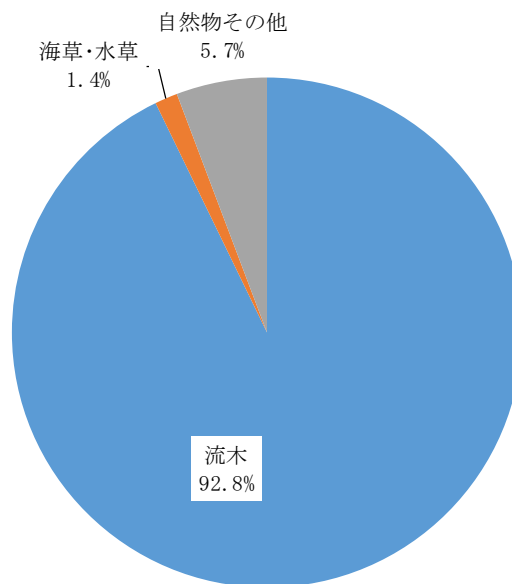


図 19.2 自然物ごみの種類別割合（全体）

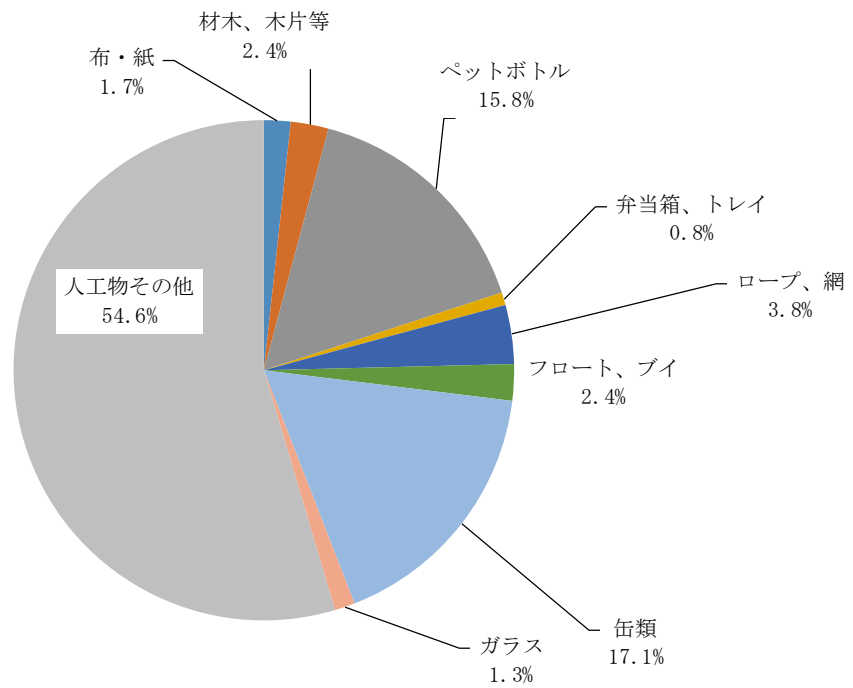


図 20.1 人工物ごみの種類別割合（海岸）

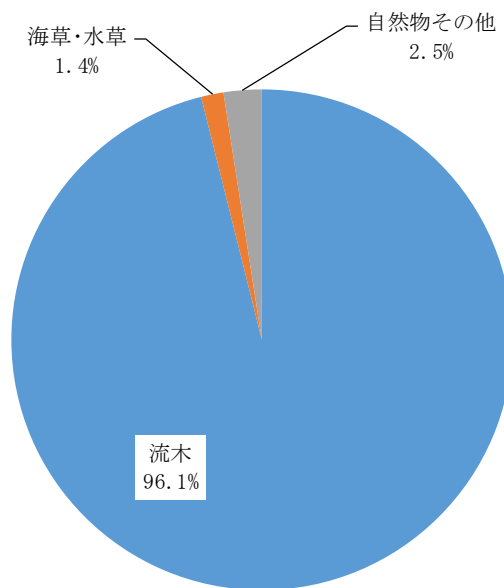


図 20.2 自然物ごみの種類別割合（海岸）

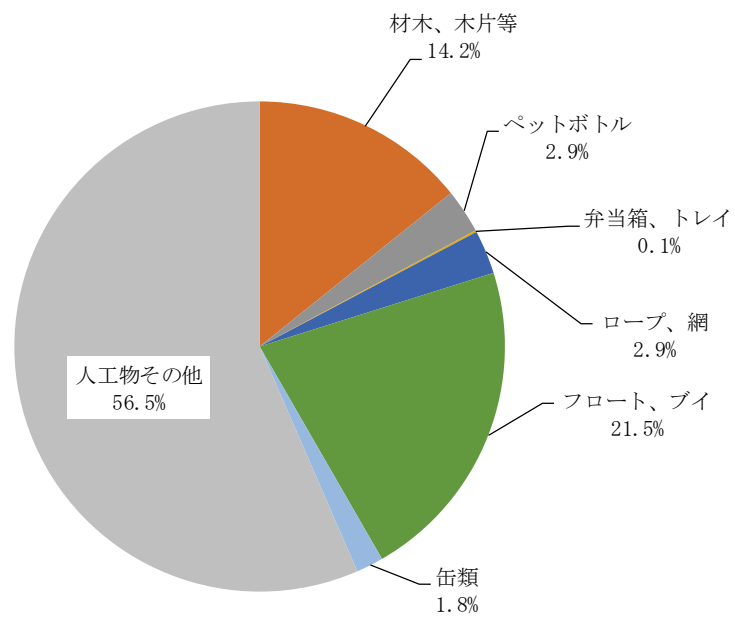


図 21.1 人工物ごみの種類別割合（海域）

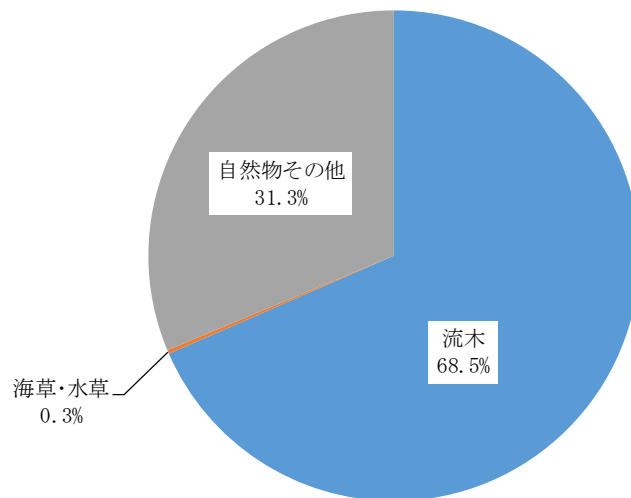


図 21.2 自然物ごみの種類別割合（海域）

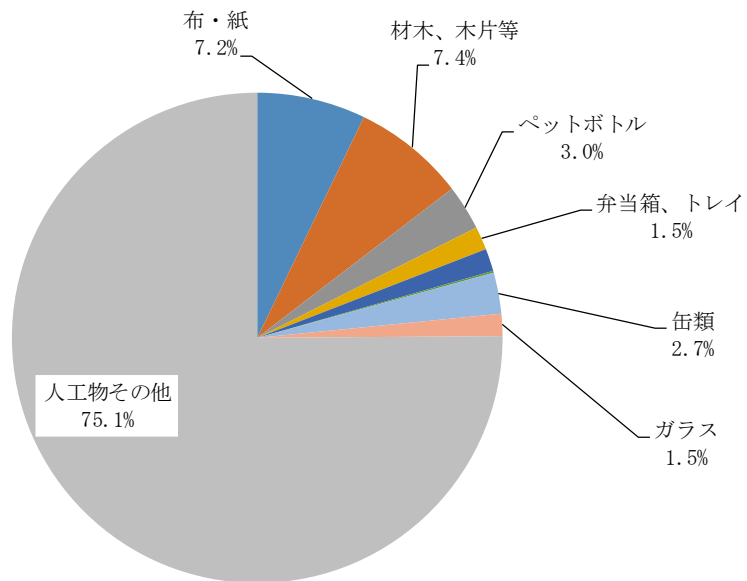


図 22.1 人工物ごみの種類別割合（河岸）

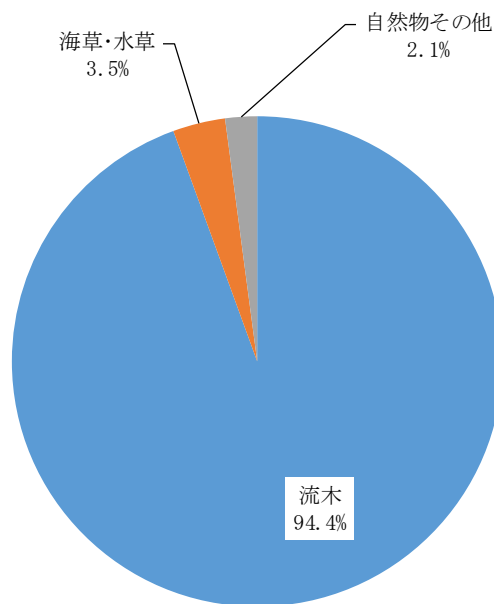


図 22.2 自然物ごみの種類別割合（河岸）

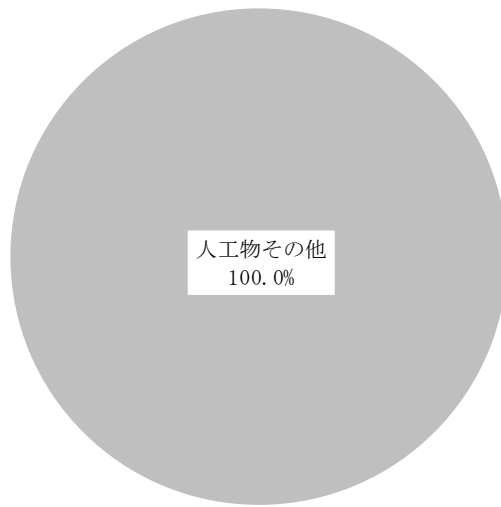


図 23.1 人工物ごみの種類別割合（湖岸）

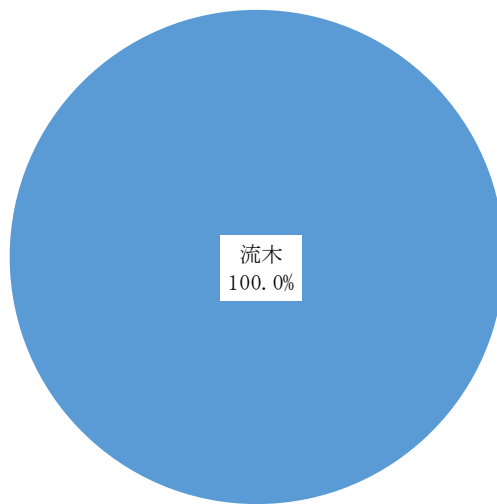


図 23.2 自然物ごみの種類別割合（湖岸）

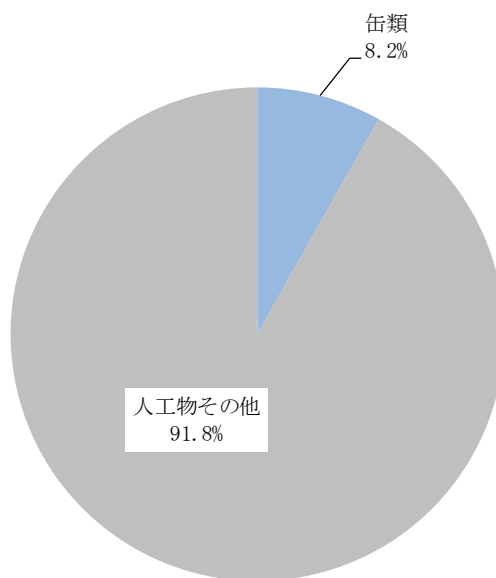


図 24.1 人工物ごみの種類別割合（湖域）

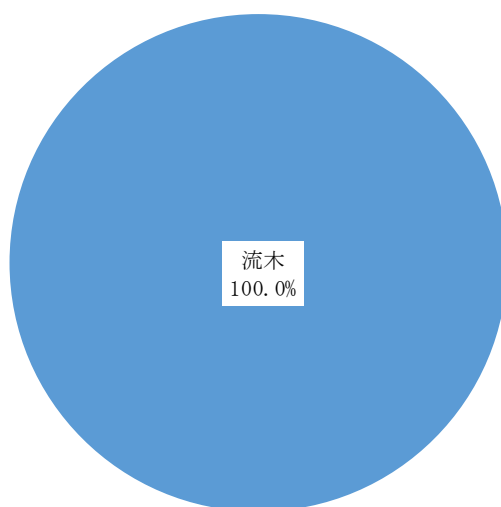
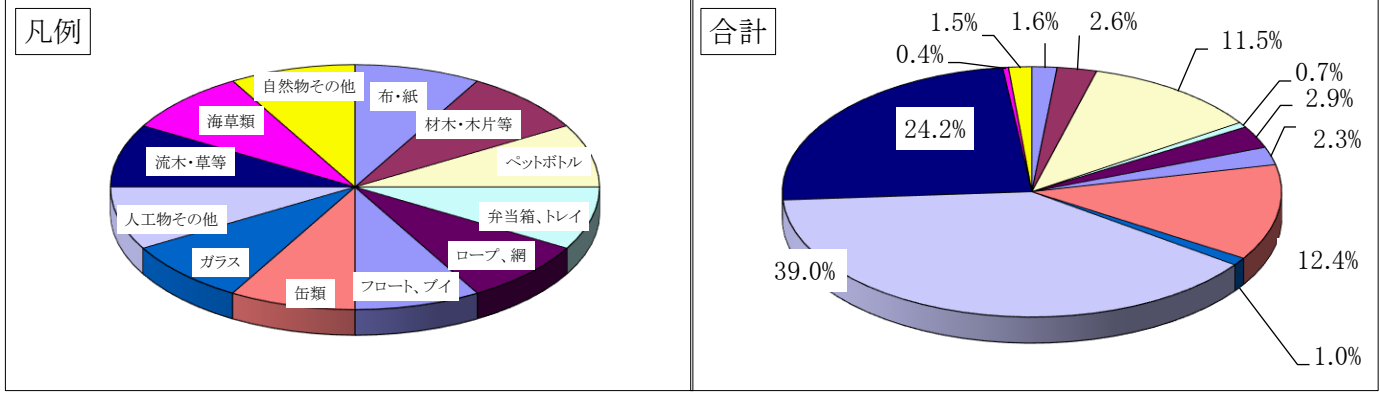


図 24.2 自然物ごみの種類別割合（湖域）

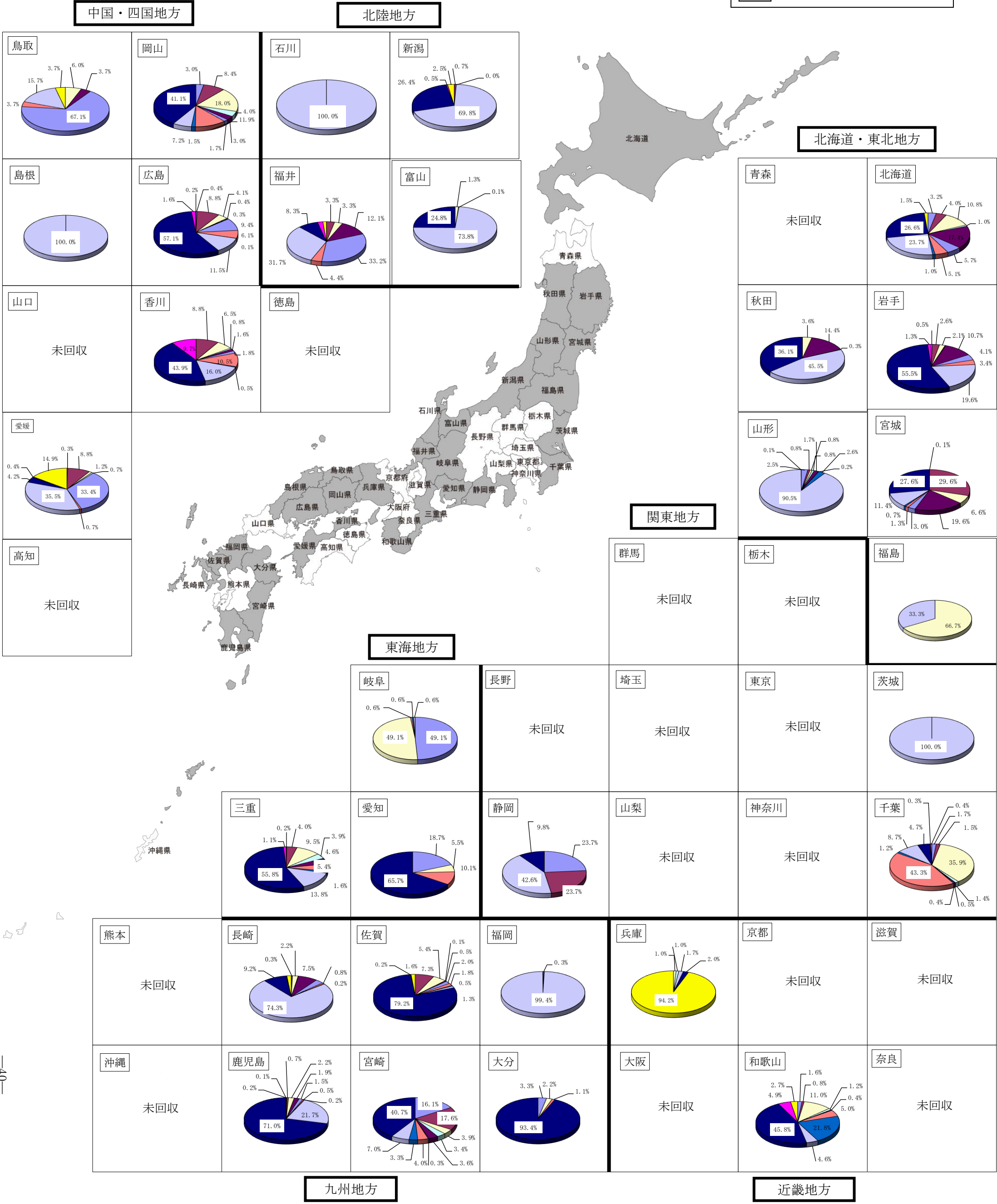
全国ごみマップ

ごみの種類別の割合について、都道府県毎に整理したマップを図 25、同じく海岸のごみマップを図 26 に、海域のごみマップを図 27 に、河岸のごみマップを図 28 に、湖岸のごみマップを図 29 に、湖域のごみマップを図 30 に示す。



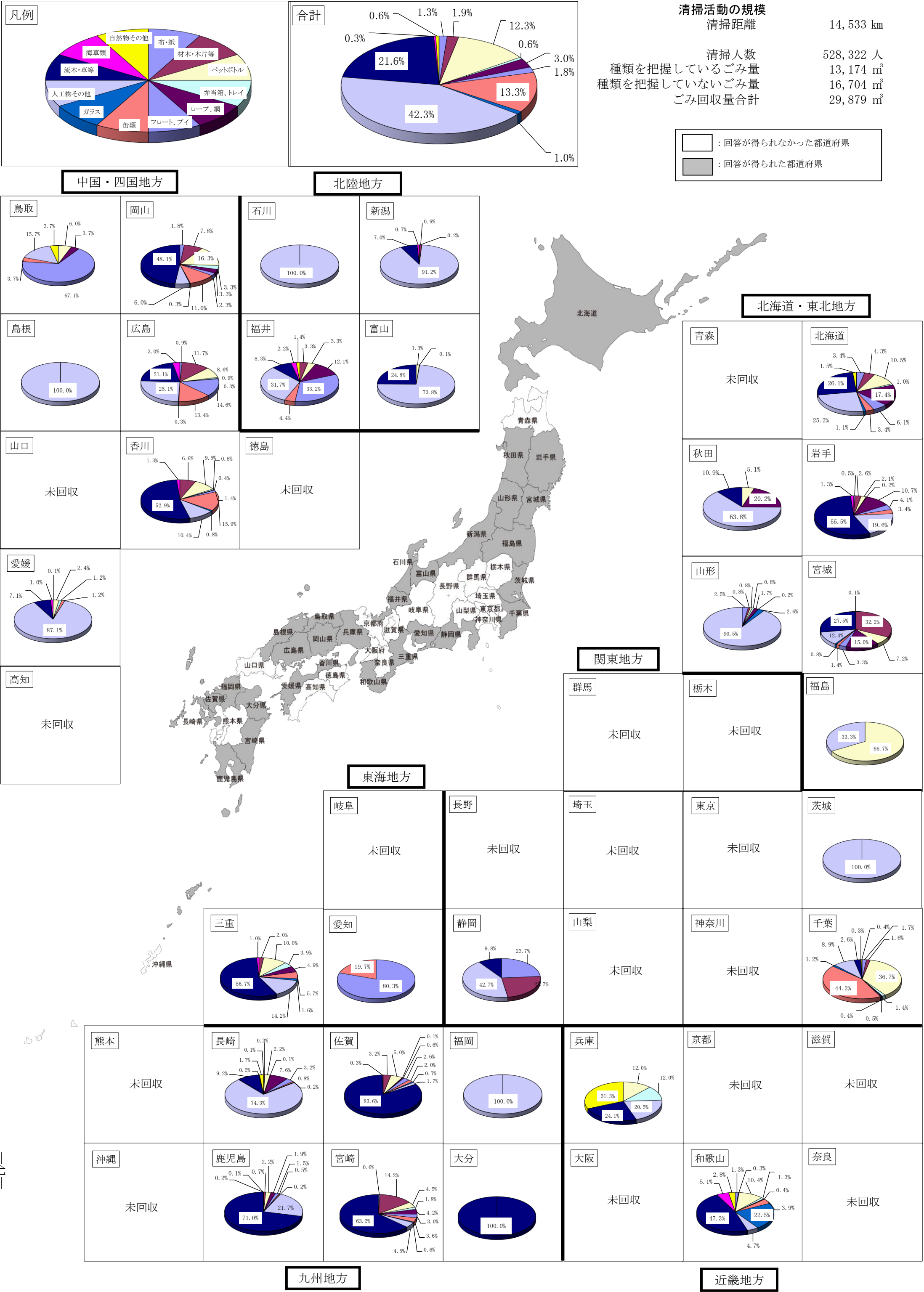
清掃活動の規模	
清掃距離	16,441 km
清掃面積	408 km ²
清掃人数	608,473 人
種類を把握しているごみ量	14,392 m ³
種類を把握していないごみ量	25,408 m ³
ごみ回収量合計	39,800 m ³

□ : 回答が得られなかった都道府県
■ : 回答が得られた都道府県



注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

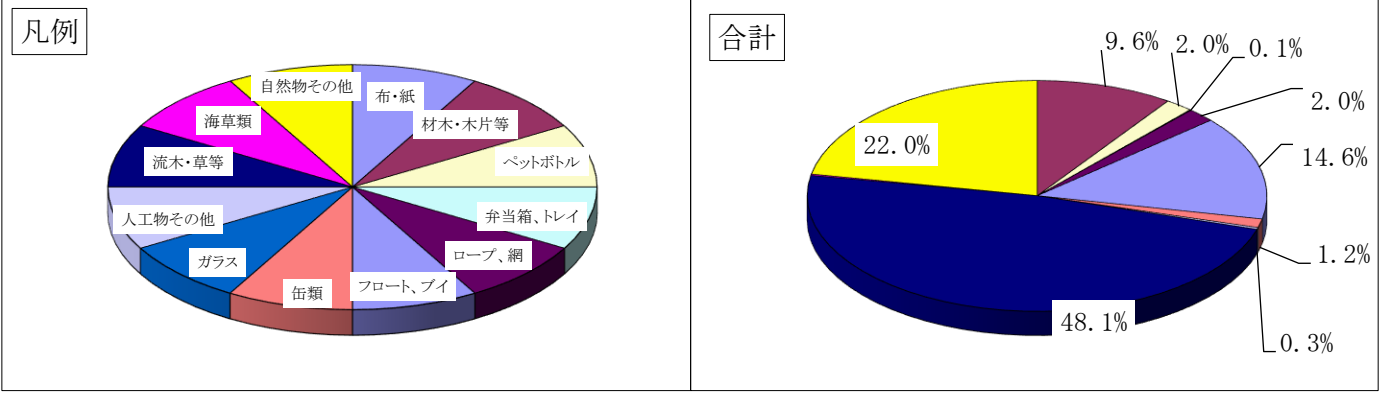
図 25 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況（全地域）



注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。

グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

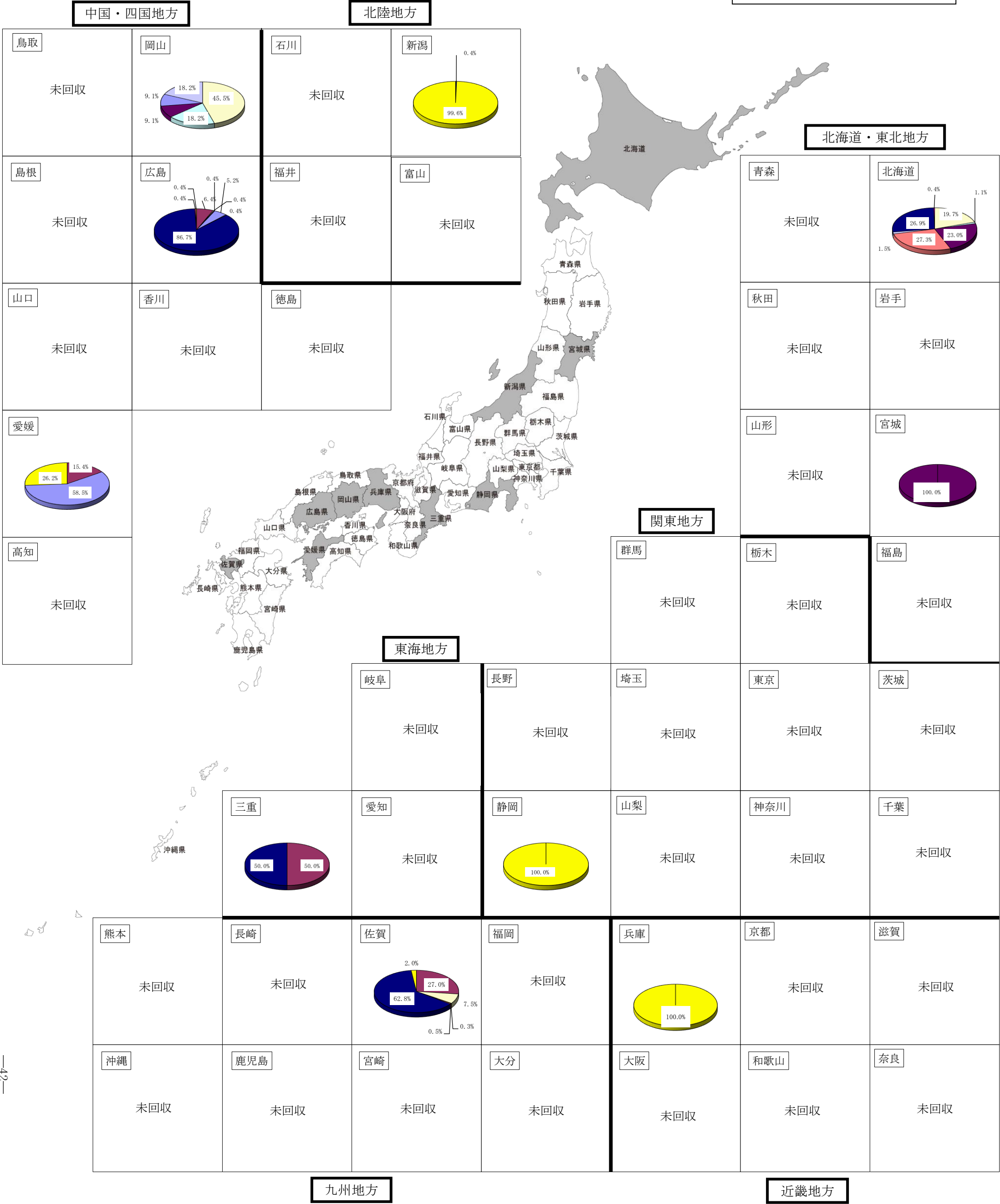
図 26 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況（海岸）



清掃活動の規模		
清掃面積	371	km ²
清掃人数	5,711	人
種類を把握しているごみ量	622	m ³
種類を把握していないごみ量	179	m ³
ごみ回収量合計	801	m ³

：回答が得られなかった都道府県

：回答が得られた都道府県



北海道・東北地方

青森

未回収

北海道

秋田

未回収

岩手

未回収

山形

未回収

宮城

関東地方

群馬

未回収

栃木

未回収

福島

未回収

東海地方

岐阜

未回収

長野

未回収

埼玉

未回収

東京

未回収

茨城

未回収

三重

愛知

未回収

静岡

山梨

未回収

神奈川

未回収

千葉

未回収

九州地方

熊本

未回収

長崎

未回収

佐賀

福岡

未回収

兵庫

京都

未回収

滋賀

未回収

沖縄

未回収

鹿児島

未回収

宮崎

未回収

大分

未回収

大阪

未回収

和歌山

未回収

奈良

未回収

近畿地方

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 27 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況（海域）

